

○第8次中期計画の取り組み事項 総括

基本方針 (2)	協同組合の役割発揮による地域活性化への貢献		
重点方針		実践方策	総括
1	総合事業を通じた生活インフラ機能の発揮	<p>○組合員・職員が、多様な面で健康でいられる事業運営について検討し、健康増進活動や生活福祉事業の強化を通じた元気で豊かな地域社会を創造します。</p> <p>○生活関連事業の強化による地域を守る生活インフラ機能の充実と、新たな取り組みによる継続した機能の発揮に取り組みます。</p> <p>○個別資産相談の強化を図るとともに年金受給者数23,700人をめざし、地域実態・ニーズを踏まえた総合事業を展開し、利用者の利便性の向上に取り組みます。</p>	<p>○介護保険事業、歯科診療事業とも新型コロナウイルス感染症の影響で利用控えがありますが、今後も徹底した衛生管理に努め、利用者が安心してご利用いただけるよう最善を尽くします。</p> <p>○個別資産相談会は、計画的に開催しました。また、年金をはじめより高度な金融サービスをめざします。</p> <p>○従業員の歯科健診の受診率向上に向けた取り組みについて検討しました。女子大学では、活動自粛により、料理教室を代替えの講座に変更しました。引き続き女性部・厚生連と検討しながら、健康増進活動に取り組みます。また、生活インフラ機能の充実のために、移動購買車の運行ルート拡大を店舗部と検討しました。</p> <p>○店舗部では、地域に必要とされる店舗事業をめざすために、生鮮部門の強化に取り組みました。特に、惣菜加工センターの機能拡充と青果物流センターの機能強化を図った結果、集客効果につながりました。葬祭部では、多様化する利用者の意向に沿いながら、親切丁寧な葬儀施行に取り組みました。自動車課では、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、電話による車検案内を通じてお客様との関わりづくりに取り組みました。また支店との連携によりセニアカーの販売に取り組みました。</p>
2	多様な関わり・結びつきによる地域コミュニティの活性化	<p>○1支店1協同活動や食農教育等による多様な結びつきを通じた取り組みについて検討し、組合員とともに新たな絆づくりと地域コミュニティの活性化に貢献できる運営をめざします。</p> <p>○地域の学生との関わりや、地元企業・協同組合間連携等について模索し、ともに地域を守り抜くための取り組みを行います。</p> <p>○今治生活支援体制整備事業との連携により、元気高齢者への対応やアクティブシニアの発掘と結びつきを強化します。</p> <p>○総合事業を通じた各種イベントの実施による、地域の活性化に努めます。</p>	<p>○助けあい組織「太陽の会」では、今年度より大西支部が活動中止し協力会員が13名減少しました。女性部との連携、男性協力会員の勧誘等を視野に活動の継続に努めます。</p> <p>○食農教育を通じ、次世代との交流を図りました。引き続き青壮年部や女性部と連携強化を図り、教育文化活動・食農教育活動に積極的に取り組みます。</p> <p>○イベント等中止また延期の中、できる事を検討し上期には実施します。またSDGsにかかる認識を高めるため情報共有を図りました。</p> <p>○自動車燃料部では、新型コロナウイルス感染症の関係で各種イベントが中止となり思うような活動ができませんでした。今後新たな形でのイベント等を企画します。</p>
3	正・准組合員のメンバーシップ強化・仲間づくり	<p>○住宅ローン利用者先への感謝訪問等、若年層とのつながりを意識した事業運営やサービスを強化し、複合利用・複合参加によるメンバーシップの強化を図ります。</p> <p>○JA組織基盤を支える新たな仲間づくりに向け、組合員数40,000人をめざした積極的な組合員メリットの創出を図ります。</p> <p>○協同活動を通じたJA参画への取り組みや組合員資格の見直しについて検討し、地域・組合員との絆の創造を図ります。</p>	<p>○住宅ローン感謝訪問等による若年層や次世代へのつながり強化と新たな仲間づくりに向けた活動を行いました。</p> <p>○新たな組合員メリットの創出について、各事業部門と検討を行いました。今後、実施できるものから進めます。また、組合員大学の開校は延期としました。今後も状況をみて進めます。</p>